

<報道資料>

2009年7月28日

抗がん剤の副作用による脱毛を防ぐ医療機器【DigniCap™】※の
独占販売代理契約を締結

発毛専門の株式会社 毛髪クリニック リーブ 21(大阪市中央区、代表取締役:岡村勝正、以下、リーブ 21)は、ディグニターナ社(スウェーデン、CEO:Martin Waleij マーチン ワレイジ)と、日本での『DigniCap™』の独占販売代理契約を締結致しました。



近年、抗がん剤治療(化学療法)は、その治療法の進歩に伴い、優れた治療実績をあげています。しかし、その反面、様々な副作用が問題となっています。その中でも、抗がん剤治療により生じる脱毛に関しては、これまで積極的な対策がとられていませんでした。しかし、特に目に見える副作用である脱毛は、精神的な苦痛や、本人のQOL(生活の質)を考えると大きな問題でもあります。

『DigniCap™』は、患者様の脱毛の予防または脱毛の軽減を目的に、スウェーデンのがん治療専門看護師、ドクター及び大学教授らにより開発された医療機器です。抗がん剤治療中の患者様の頭皮を均一に一定の温度で冷却する、この頭皮冷却装置は、Cooling unit(コントロールパネル付き冷却装置本体)とシリコン製キャップ(帽子)により構成されており、二人の患者様が同時に利用できます。さらに、この頭皮冷却装置は、シリコン製キャップの装着が簡単な上、徐々に頭皮が冷却されるので違和感が少なく、爽快感、快適性の持続が可能といった利点を併せ持っています。

ヨーロッパにおいては、スウェーデンをはじめ、デンマーク、ノルウェー、フィンランドの北欧だけでなく、イギリス、ドイツ、フランスなどの医療機関への導入が進んでおり、利用患者数はすでに5,000人以上に及びます。

リーブ 21 は、ディグニターナ社に出資を行い、日本での独占販売代理契約を締結致しました。さらに、アジアの一部及びオセアニアでの独占販売権獲得の交渉を進めております。また、両社は、頭皮冷却装置の世界展開を鑑み、日本での生産を検討することに合意致しました。

今後、リーブ 21 は、監督官庁、関係機関のご指導を得ながら、頭皮冷却装置の日本における医療機器承認を取得し、乳がん専門の医療機関向けに頭皮冷却装置を提供していきたいと考えております。そして、がん患者の方々が抱える脱毛による精神的ダメージや心の痛みを少しでも和らげていただけるよう、サポートして参ります。

※ 『DigniCap™』は生産地スウェーデンでの商品名です

※ 『DigniCap™』は、現在、日本では未承認医療機器であり、販売・授与はできません

本件に関するお問合せ先
株式会社 毛髪クリニック リーブ 21
広報部

■抗がん剤の副作用による脱毛について

近年、抗がん剤治療(化学療法)は、その治療法の進歩に伴い、優れた治療実績をあげています。しかし、その反面、嘔吐、食欲不振、白血球減少などの様々な副作用が問題となっています。その中でも、抗がん剤治療により生じる脱毛に関しては、治療後に再び髪が生えてくことや、身体機能への直接的な影響が少ないことなどから、これまで他の副作用に比較してそれほど積極的に対策がとられていませんでした。

しかし、特に目に見える副作用である脱毛は、がん患者の方々の精神的な苦痛を生み、また患者様ご本人の QOL(生活の質)を考えると大きな問題でもあります。

リーブ 21 は、発毛専門の強みを活かし、患者様が抱える脱毛による精神的ダメージや心の痛みを少しでも和らげていただけるよう、サポートして参りたいと考えております。

■『DigniCap™』

『DigniCap™』は、抗がん剤治療中の患者様の頭皮を、均一に一定の温度で冷却することにより、患者様の脱毛の予防または脱毛の軽減を目的に、スウェーデンのがん治療専門看護師、ドクター及び大学教授らにより開発された医療機器です。

この頭皮冷却装置は、Cooling unit(コントロールパネル付き冷却装置本体)とシリコン製キャップ(帽子)により構成され、二人の患者様が同時に利用できます。

Cooling unit の両側に患者様が座り、抗がん剤の点滴中(点滴前後の時間を含む)、シリコン製キャップを装着し、正確な温度調整のもと頭皮全体を隈なく均一に一定の温度を維持し冷却します。

冷却されることにより、抗がん剤の血中ピーク時において、血管収縮作用により毛包への血流が抑制され、また代謝活性が低下します。このことで、抗がん剤による毛包へのダメージを低下させ、脱毛予防、脱毛軽減に繋がります。これが頭皮冷却による脱毛予防のメカニズムです。

また、この頭皮冷却装置は、シリコン製キャップの装着が簡単な上、徐々に頭皮が冷却されるので違和感が少なく、爽快感、快適性の持続が可能といった利点を併せ持っています。

■『DigniCap™』の使用方法

シリコン製キャップ(帽子)には、独自のパターンの迷路状の溝があり、冷却液が全体を一定の速度で流れ、Cooling unit(コントロールパネル付き冷却装置本体)に戻る仕組みで、前頭部、後頭部の各1カ所にある温度センサーによって微妙な温度調節がなされています。

冷却時間は、抗がん剤の種類によっても異なりますが、基本的には点滴前の30分、点滴中120分、点滴後30分で、途中トイレなどでの中断も可能となります。中断は、席を離れるとき、チューブのみをCooling unit から切り離し、キャップをつけたままの移動も可能で、また、チューブの再装着も容易です。運転中の温度モニターはパネル上で表示され、確認することもできます。また、時間をさかのぼっての温度管理をモニター上でも確認することができます。



『DigniCap™』コントロールパネル



『DigniCap™』を装着している姿



『DigniCap™』Cooling unit(冷却装置本体)

■頭皮冷却を用いた脱毛予防(用具・機器)の歴史

- 1960年代 止血帯(バンド)、氷製キャップ(クラッシュアイス)
- 1970年代 冷却パック、ゲル冷却キャップ(Penguin, Elasto-Gel)
- 1980年代 強制空気による継続的冷却(SCSII system)
- 1990年代 液体冷却材を使ったコイル付きキャップでの継続的冷却(Paxman Coolers)
- 2000年以降 センサー付き装着シリコンキャップによる継続的、制御付冷却(DigniCap™)

【『DigniCap™』のラインナップ】



【ディグニターナ会社概要】

会社名: DIGNITANA AB

CEO: Martin Waleij

本社住所: Visiting address: Ruben Rausing's gata 9, Lund, Sweden

創業: 1999年

ディグニターナ社は、頭皮冷却することにより抗がん剤治療を受けている患者様の脱毛予防、脱毛を軽減する医療機器『DigniCap™』を開発、製造、販売するスウェーデンの会社です。この医療機器は、日米欧で特許化されています。脱毛予防のための頭皮冷却装置を広めることにより、社会に貢献し、世界のマーケットリーダーとして、将来的には、『DigniCap™』の技術を神経学など他の領域にも広げていきたいと考えています。

～PRESERVING DIGNITY OF LIFE～

URL: <http://www.dignitana.com/>

【毛髪クリニック リーブ 21 会社概要】

会社名: 株式会社 毛髪クリニック リーブ 21

代表取締役: 岡村勝正

本社所在地: 大阪府大阪市中央区城見 2-1-61 ツイン 21MID タワー22F

設立: 1993年12月

資本金: 40,000,000円

主要サービス: 頭髪の発毛施術サービス

店舗数: 102店舗 (平成21年7月現在)

URL: <http://www.reve21.co.jp>